



5月下旬から好天の日が多く、水田の地温が上がり、ワキが発生しています！！  
こまめな水管理で初期生育を確保し、目標茎数がとれたら直ちに中干しを！！

6月5日に仙台管区气象台から発表された1か月予報によると、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。田植え後、気温が高く活着は良好ですが、ワキや藻類・表層剥離の発生が多くなっています。一時的な落水管理(2~3日間)と水交換を早めに行い、2~3cmの浅水で分げつの発生を促しましょう。また、今年は「乾土効果」が大きいと見込まれ過剰な分げつの発生が心配されます。そのため目標茎数が確保されたら、直ちに作溝、中干しを行いましょう。

### 土壌の異常還元(ワキ)対策

分げつ期に湛水状態で高温が続くと異常還元(ワキ)となり、分げつの発生が遅れる原因となります。水田に足を踏み入ると気泡が発生するようなワキの場合には、一時的な落水管理(2~3日間)と水交換を早めに行い、根の活力維持に努めましょう。

除草剤の散布後にワキが確認された場合には、2~3日の落水なら除草効果に大きな影響はありません。ただし、除草剤散布後7日間は必ず止水します。

### 【東北地方 1か月予報】

6月7日~7月6日

東北日本海側で平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

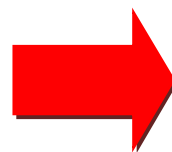
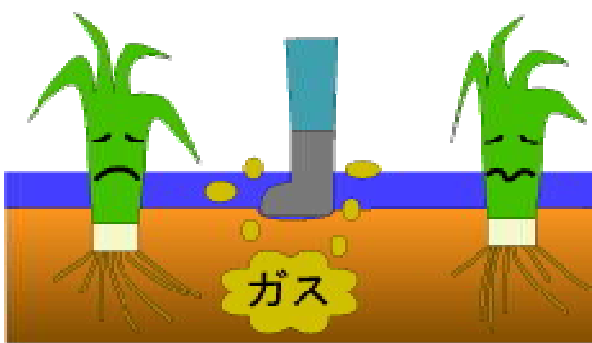
<気温の予報>

6/7~6/13 : 高い確率 30%、平年並み 50%

6/14~6/20 : 高い確率 40%、平年並み 40%

6/21~7/4 : 高い確率 40%、平年並み 30%

## 気泡が発生する



根の伸長阻害で  
養分吸収ダウン  
茎数不足の原因に！

### 適正な茎数の確保

目標茎数を確保するまでは、分げつを促進させるために水深は2~3cmの浅水管理とし、昼間止水・夜間かんがいを行いましょう。

今年は、乾土効果が平年より大きく、早期に目標茎数が確保されると見込まれます。

右表のとおり、目標茎数が確保されたら、速やかに落水して作溝・中干しを行いましょう。

【表 品種別の目標茎数の目安】

品 種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株植/坪	80株植/坪
はえぬき	22~24本	19~21本
つや姫	19~21本	17~19本
コシヒカリ	19~21本	-
ひとめぼれ	23~25本	20~22本
あきたこまち	21~23本	18~20本

## いもち病対策

いもち病は予防を徹底することが重要です。

水田内に放置された取り置き苗に葉いもちの発生が確認されています。伝染源となりますので直ちに処分しましょう。

育苗箱施用剤を使用していない場合には、6月20日までに予防粒剤を散布しましょう。



葉いもち病斑（急性型）

## 斑点米カメムシ類対策

病害虫防除所の発表では、今年の斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と予想されています。

斑点米カメムシ類は、イネ科植物などの雑草地で繁殖します。常日頃から畦畔・農道の除草を徹底し、生息密度低減に努めましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ（体長：5～6mm）

アカスジカスミカメ（体長：4.6～6mm）

**ストップ！農作業事故！ゆとりある作業計画を！**



今年も残念ながら農作業時の死亡事故・重大事故が発生しています。これまで既に14件（6/2現在）と昨年同時期の3件に比べ大幅に増加しています。ゆとりある作業計画で安全を十分確認して作業を行いましょう。

**あせらず・きもまず・安全を確認して作業を行いましょう！**

**トラクターのほ場からの退出は慎重に！**

**農薬を使用する際には使用基準を再確認し、正しく使いましょう！**

**農薬を使った際にはその都度記帳を行いましょう。**

やまがたアグリネット「あぐりん」アクセス！<http://agrin.jp//>

米づくり情報等の技術対策の他、気象情報、病害虫等の情報がいち早く得られます。